



たじろ

- * 自主性：自分がする。挑戦する。行動を起こす。
- * 自律性：自ら考える。適切に判断する。我慢する。
- * 寛容性：褒め合う。いたわり合う。励まし合う。



▶ 発行日：令和6(2024)年3月22日

▶ 文責：校長 西村 茂樹

田代中 HP



やさしくなれたかな

今日、修了式・離任式

ありがとう & さようなら

今年度5月、3年半に及んだコロナ禍からの開放。本校にとっても、大規模校の強みを遺憾なく発揮できる希望の時でした。以来、「自主性のリスペクト」の下で、生徒たちが成長していく喜びを何よりの励みにして、充実のうちに本日「修了式」を迎えることができました。本校教育をお支えくださった全ての保護者、地域の皆様方に、厚く御礼申し上げます。

そして、修了は惜別の時。人は、出会いと別れを繰り返しながら成長していきます。クラスメイトや30名もの先生方とのお別れもまた、人生勉強なのです。共に考え、悩み、励まし合ってきた先生方、お世話になりました。今後のご活躍を、心からお祈り申し上げます。私も退任をいたしますが、多くの方が入れ替わっても、田代中からビュンビュンと吹いてくる新風を楽しみにしております。今年度も、この「たじろ」をご愛読くださり有り難うございました。



感謝の気持ち

褒めてくれた先生。叱ってくれた先生。励ましてくれた先生。
「勉強が分かるようになりました」「目標をもって頑張っています」そんな私の成長が、一番の感謝の気持ち。 ※3/22 離任式



スラムダンクに学ぶ人間学



3月最後の全校集会は、バスケットボールの大人気漫画「スラムダンク」をとり上げてみました。バスケットボールや卓球は、トップチームの活躍で、今や凄い人気です。どの世代にも大きな影響を受けた漫画やアニメがあると思いますが、映画化された「スラムダンク」も、単なる漫画ではない「元気で自分らしく生きるための心の整え方」「心(質)を大事にするスポーツの在り方」など、人生哲学が学べる現代の偉大なるアニメなのだと感じます。話しの内容は、「スポーツ応用心理学」という面から著された『スラムダンク勝利学(辻秀一著)』を参考に、登場人物6人をピックアップして整理しました。生徒たちは、それぞれどの人物の姿に共鳴してくれたのでしょうか。なお、画像は、著作権者の許可を得て掲載しています。また、イラストは、立体で学童美術展県特選に輝いた2年生の横枕くんの力作です。

桜木 花道



一生懸命

主人公。初心者ながら、自分のよさを信じて、ひたすらバスケットにのめり込んで成長していきます。純粋な一生懸命さは、ただもうそれだけで、重要な生きる力です。花道くんの最大のよさ。

赤木 剛憲 (通称ゴリ)



高い目標

キャプテン。自分がこうなりたいという思いを言語化し、無謀にも「全国制覇」という高い目標を掲げて、本気で行動している。こんな人が世の中を変えていくのだらうと思いました。

流川 楓



チャレンジ精神

1年生にしてエース。強気で能力も突出。でも、これまでのプレースタイルを捨てて、徐々に新しい自分にチャレンジして変わっていきます。それでいて、自分をしっかりもっている。



木暮 公延
(通称めがねくん)

応援力

副キャプテンで控え選手。純粋にチームのために仲間を応援できる人。結果だけに一喜一憂せず、常に自分の心を整えることができる人。こんな友達がいたらいいなと思う人です。



宮城 リョータ

楽しむ力

身体は大きくないけれど、苦しいときでも、楽しんでいる。徹底的に楽しむことを“よし”としていて、それが一番大事だと信じている。また、楽しむことがよい結果につながると思っている人です。



三井 寿

諦めない心

元中学MVP。いろいろあって高3年でバスケットに復帰した諦めない男。今を生きる力が高い人でもある。先々を変に計算しないから、大逆転を呼び込むときの力になる。

公の場で通用する人になる

「やさしくなれたかな?」「時間が守れる人になれたかな?」「挨拶や掃除を頑張れたかな?」子供たちは、この1年でのような成長を遂げたのでしょうか。今年度の重点目標として掲げたのは「公の場で通用する人になる」です。基本は、相手への思いやり。自己中心的ではなく、場に応じた適切な判断と言動ができる人になることです。作家の吉本隆明は、「15歳は、まだ子供だと思ふかもしれない。でも実際はそうじゃない。たいていのことはもう分かっている。」と述べています。本日配付の「通知表」には右のような「田代スタイル」の評価欄を設けております。お子様自身の自己評価ではありませんが、学力向上との相関を十分に感じる成長の指標の1つと捉えています。教科の評価・評定と共に、注目していただければ幸いです。

通知表 田代スタイル

生活の3つの柱「田代スタイル」	自己評価(A~D)
【挨拶】 礼儀正しくし、気持ちよくあいさつすることができている。	A
【掃除】 仲間と協力して「無言清掃」を行い、役割をしっかりと果たすことができている。	B
【時間】 登校時刻や2分前行動など、時間を守って学校生活をおくることができている。	C

※田代中学校では、この3つを「生きる力」や「学力向上」の土台として大切にしています。評価は、前期末のお子様自身の自己評価です。
A：十分できている B：だいたいできている
C：あまりできていない D：できていない



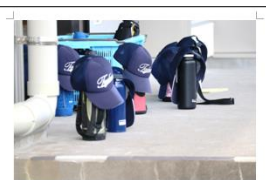
全ては意味付けである

くだらない仕事だと思えば全てがくだらなくなるし、尊い仕事だと思えば全てが尊いものとなります。どうせ大変な仕事なら、少しでも楽しんでポジティブに考えてやりたいもの。スポーツも同じ。たとえ試合で負けたとしても、チームや自身がどう変化できたのかと、そこに意味をもたせられれば、チームや自身の成長を促すことができ、次の糧になるはず。全ては意味付けなのだ。そんなことを思って、生徒たちの活動や行動に意味付けし、左のような「価値語」を作ってきました。今年度も計105編を中央廊下に掲示してきましたが、こうして、いくつかを並べるだけで、その時々感動が蘇ってきてグッとくるものがあります。生徒たちを少しでも勇気付けることができたとしたなら、それは嬉しいことだと思っています。



自分たちで高める

卒業式の練習も、自分たちで反省や感想を出し合いながら高めていく。もう少し、あとちょっとと...そんな時間を繰り返して、ゴールが見えてきた。



自主性のリスペクト

大規模校の“強み”を思い切り発揮する時がきたぞ！先輩たちが残してくれた希望と勇気を、さらに膨らませる時がきたぞ！



山なみ青し

思いつき「校歌」を歌えるときがやっと来たんだね。肩を組んでノーサイド。もう最高だね！今日の山はどこまでも青く続いています。



君達はすごいな

修学旅行で学んだことを基に、シナリオから自分たちで創り上げた平和の尊さと有り難さ。伝わってきたよ。感動したよ。



1/25 シャトルラン大会

力限り走った君の姿、ちゃんと見ていたよ。スポーツでも勉強でも、一生懸命と頑張る君の姿に励まされている人がいる。



楽しく楽しく

どんなことも、イヤイヤやっていたのでは何も身に付かない。掃除だって、どうせやるなら楽しく！楽しく！



3月

令和5年度 夢に向かって目標をもち、
学校教育目標 チャレンジする生徒の育成



田代中 HP